

温室効果ガスの排出削減目標

○ あいち地球温暖化防止戦略2030における削減目標

2030年度排出量を2013年度に比べて26%削減

部門等	2013年度排出量 (千t-CO ₂)	2030年度	
		排出量 (千t-CO ₂)	2013年度比
産業部門	40,153	34,713	▲13.5%
業務部門	12,072	6,101	▲49.5%
家庭部門	8,584	4,537	▲47.1%
運輸部門	13,327	9,476	▲28.9%
※ その他	8,247	6,348	▲23.0%
吸収源	—	▲242	—
総排出量	82,384	60,933	▲26.0%

※その他には、一部のCO₂（エネルギー転換部門、非エネルギー起源）メタン、一酸化二窒素、代替フロン等4ガスが含まれる。



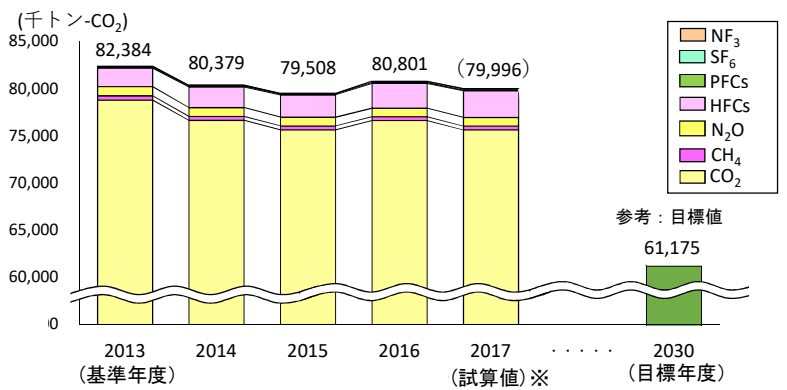
愛知県の温室効果ガス排出量 (2016年度)

平成31年3月27日

愛知県環境部 地球温暖化対策課

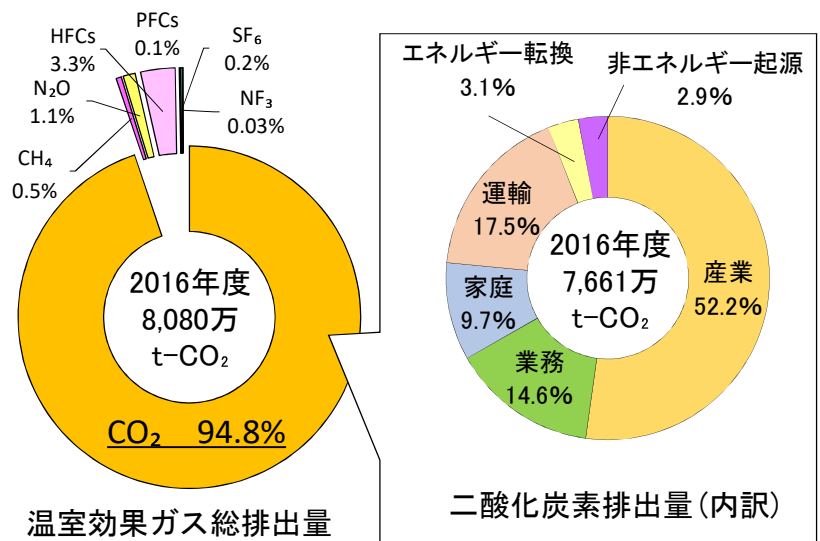
温室効果ガス排出量の経年変化について

○2016年度の総排出量は、基準年度比で**1.9%減少**、
前年度比では、**1.6%増加**
(CO₂, N₂O, HFCs, SF₆, NF₃→増加 / CH₄, PFCs→減少)



※2017年は、全国的な傾向から簡易的に推計した試算値

2016年度のCO₂排出量 (内訳) について



2016年度のCO₂排出量（経年変化）について

○2016年度のCO₂総排出量は、基準年度比で**2.8%減少**、前年度比では、**1.3%増加**。

（単位：千トン-CO₂）

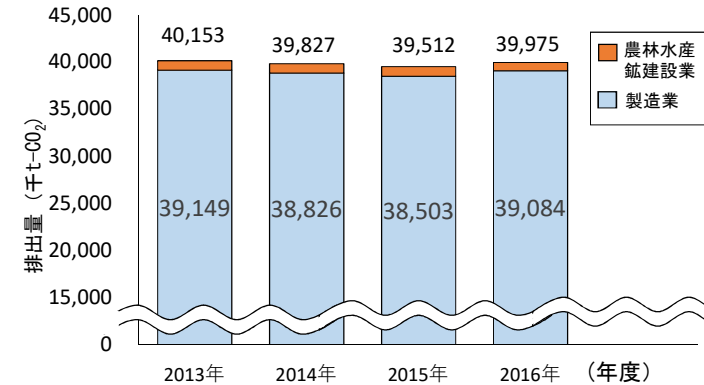
部門名	年度	2013 (基準年度)	2015	2016	2016 基準年度比 (%)	2016 前年度比 (%)	【参考】 2017 (試算値)
エネルギー起源 CO ₂	産業	40,153	39,512	39,975	-0.4	1.2	39,366
	民生業務	12,072	10,881	11,175	-7.4	2.7	10,874
	民生家庭	8,584	7,376	7,465	-13.0	1.2	7,596
	運輸	13,327	13,387	13,400	0.5	0.1	13,283
	エネルギー-転換	2,435	2,303	2,364	-2.9	2.7	2,255
非エネルギー起源CO ₂	2,225	2,168	2,233	0.4	3.0	2,251	
二酸化炭素 総排出量		78,796	75,627	76,612	-2.8	1.3	75,624

※ 全国的な傾向から試算した2017年度のCO₂総排出量(試算値)は全体としては減少する見込み(基準年度比4.0%減、前年度比1.3%減)

4

産業部門のCO₂排出量について-概況-

○基準年度比では**0.4%減少**、前年度比では**1.2%増加**。
←産業部門の約98%を占める**製造業**での排出量が増加したため。



5

製造業のCO₂排出量について①-業種別-

排出量変化の要因

○排出量の約5割を占める「**鉄鋼・非鉄・金属製品製造業**」が基準年度比で**0.8%減少**、前年度比では**5.0%増加**。

→製造業全体の排出量変化に寄与。

業種分類	2013年度 排出量(千t)	2014年度 排出量(千t)	2015年度 排出量(千t)	2016年度 排出量(千t)	構成比 (%)	前年度比 (%)	基準年度比 (%)
食品飲料製造業	1,654	3,299	1,636	1,664	4.3	▲1.7	0.6
繊維工業	575	556	765	276	0.7	▲64.0	▲52.1
木製品・家具他工業	37	26	39	31	0.1	▲19.7	▲15.7
パルプ・紙・紙加工品製造業	803	1,067	906	775	2.0	▲14.5	▲3.5
印刷・同関連業	106	101	89	86	0.2	▲3.6	▲18.9
化学工業(含石油石炭製品)	4,577	4,583	4,621	4,645	11.9	0.5	1.5
プラスチック・ゴム・皮革製品製造業	1,292	1,231	1,116	1,091	2.8	▲2.3	▲15.6
窯業・土石製品製造業	1,580	1,694	1,514	1,424	3.6	▲5.9	▲9.8
鉄鋼・非鉄・金属製品製造業	20,897	20,161	19,741	20,728	53.0	5.0	▲0.8
機械製造業	7,594	6,078	8,039	8,262	21.1	2.8	8.8
他製造業	34	29	36	103	0.3	185.1	202.8
(合計)	39,149	38,826	38,503	39,084	100	1.5	▲0.2

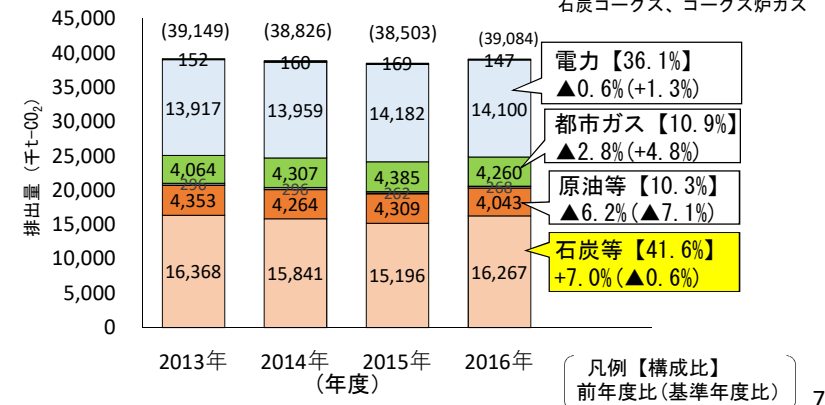
6

製造業のCO₂排出量について③-燃料別-

排出量増加の要因（対前年度）

○排出量の約4割を占める**石炭等**※由来の排出量が前年度比で**7.0%増加**したため。

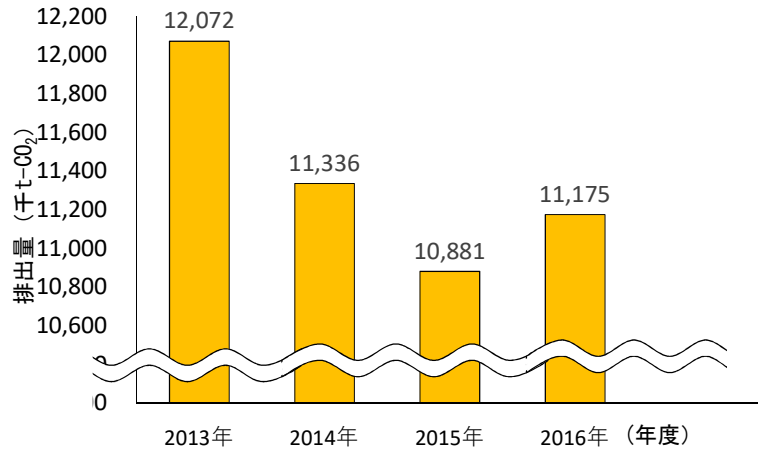
※一般炭、原料炭、無煙炭、石炭コークス、コークス炉ガス



7

業務部門のCO₂排出量について①-概況-

○基準年度比では**7.4%減少**、前年度比では、**2.7%増加**。

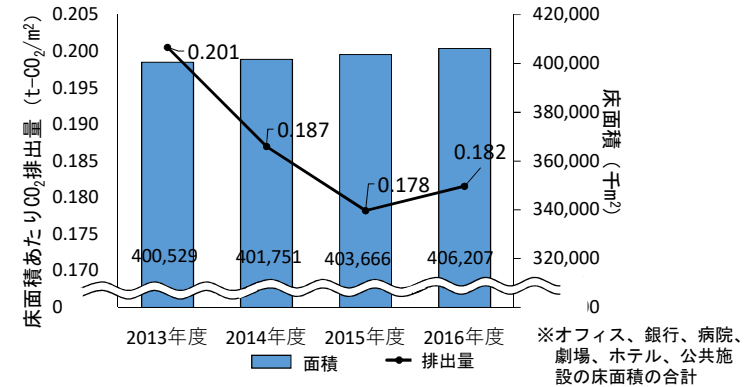


8

業務部門のCO₂排出量について②-要因-

○**延床面積**※は増加傾向だが、**延床面積あたりの排出量が減少**したため、基準年度比では排出量が**減少**。

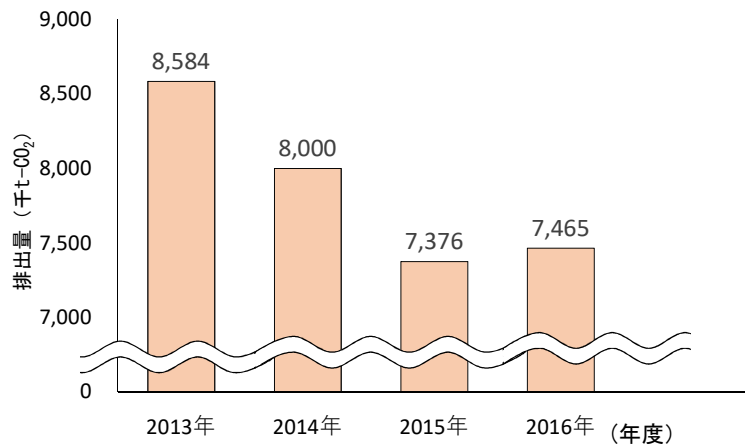
○前年度比では、**延床面積あたりの排出量が増加**に転じたため、排出量が**増加**。



9

家庭部門のCO₂排出量について①-概況-

○基準年度比では**13.0%減少**、前年度比では、**1.2%増加**。

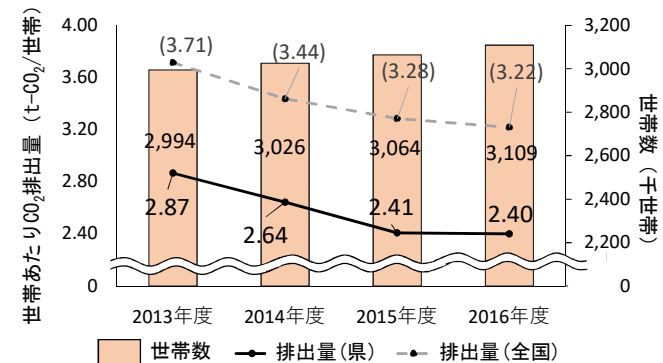


10

家庭部門のCO₂排出量について②-要因-

○**世帯数**は増加傾向だが、**世帯あたりの排出量が減少**したため、基準年度比では、排出量が**減少**。

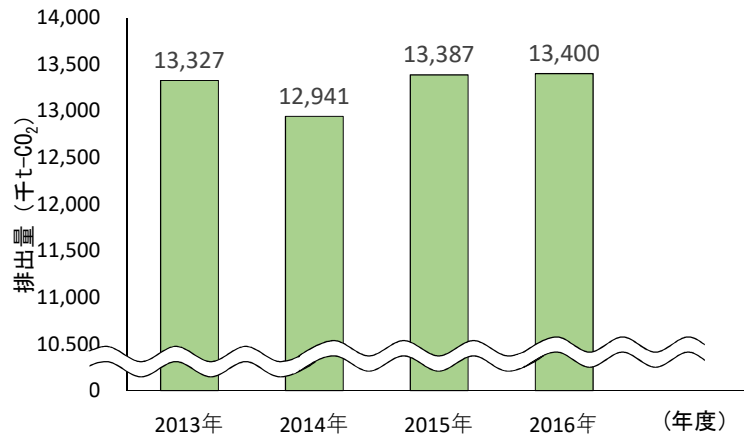
○前年度比では、**世帯あたりの排出量は微減**にとどまったため、**世帯数の増加**により、排出量が**増加**。



11

運輸部門のCO₂排出量について①-概況-

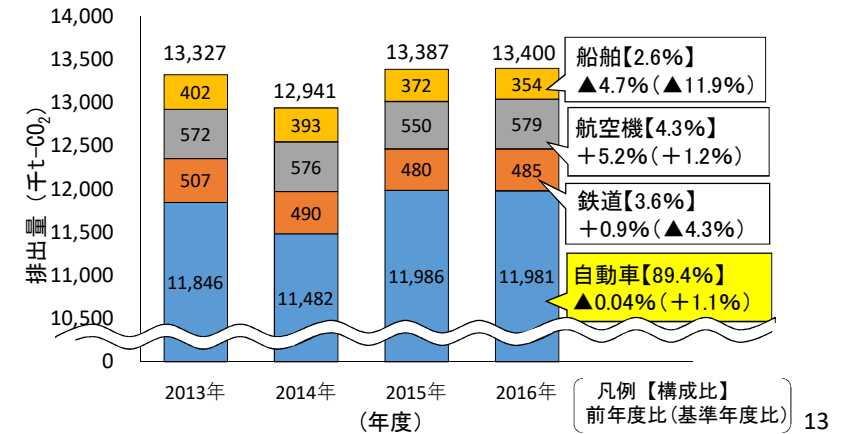
○基準年度比では**0.5%増加**、前年度比では**0.1%増加**。



12

運輸部門のCO₂排出量について②-内訳-

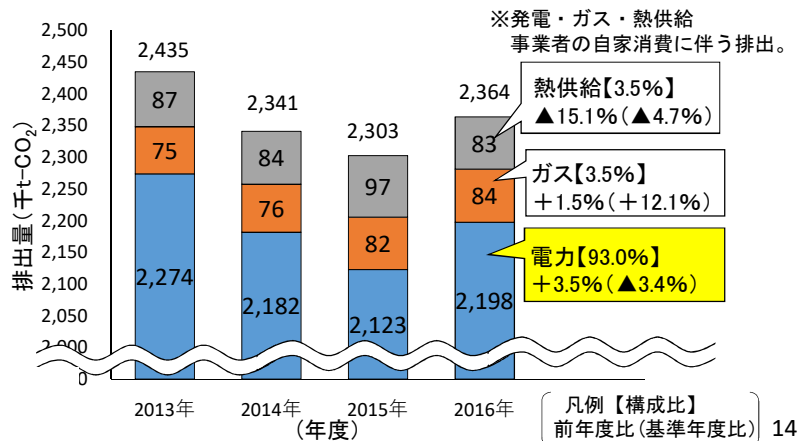
○**9割**を占める**自動車**の排出量の動向に左右される。
 ※前年度比では、**航空機**で**増加**したが、**自動車**で**横ばい**
 →運輸部門全体は**微増** (0.1%増加) となった。



13

エネルギー転換部門*のCO₂排出量について

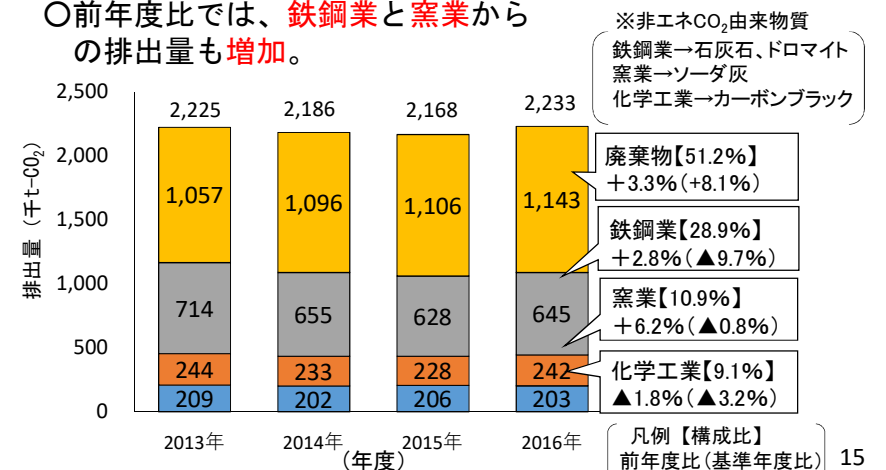
○基準年度比では**2.9%減少**、前年度比では**2.7%増加**。
 ←基準年度以降、**減少**していた**発電事業者**からの排出量が、2016年度は**増加**したため。



14

非エネルギー起源CO₂排出量について

○基準年度比では**0.4%増加**、前年度比では、**3.0%増加**
 ←**廃棄物焼却**での排出量が**増加**したため。
 ○前年度比では、**鉄鋼業**と**窯業**からの排出量も**増加**。



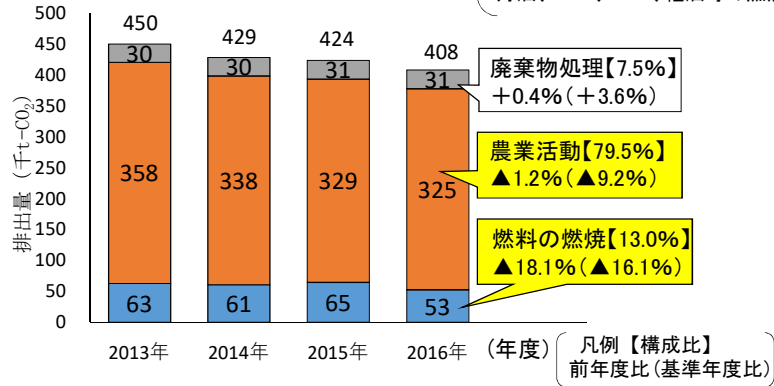
15

メタン(CH₄)排出量について

○基準年度比では**9.3%減少**、前年度比では**3.7%減少**。

←**農業活動、燃料の燃焼**由来の排出量が減少したため。

・農業活動
家畜の反芻、水田、家畜の糞由来
・燃料の燃焼
灯油、LPG、LNG、軽油等の燃焼



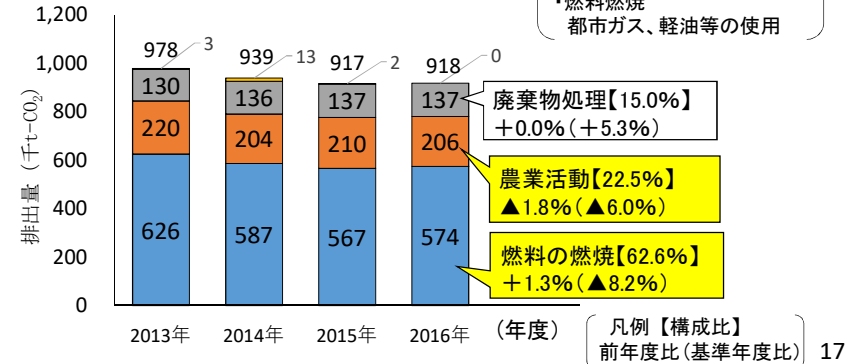
16

一酸化二窒素(N₂O)排出量について

○基準年度比では**6.2%減少**、前年度比では**0.1%増加**。

←基準年度以降、**農業活動、燃料の燃焼**由来の排出量が**減少**していたが、2016年度は、**燃料の燃焼**が**増加**に転じたため。

・農業活動
家畜の糞、窒素肥料の施肥
・燃料燃焼
都市ガス、軽油等の使用



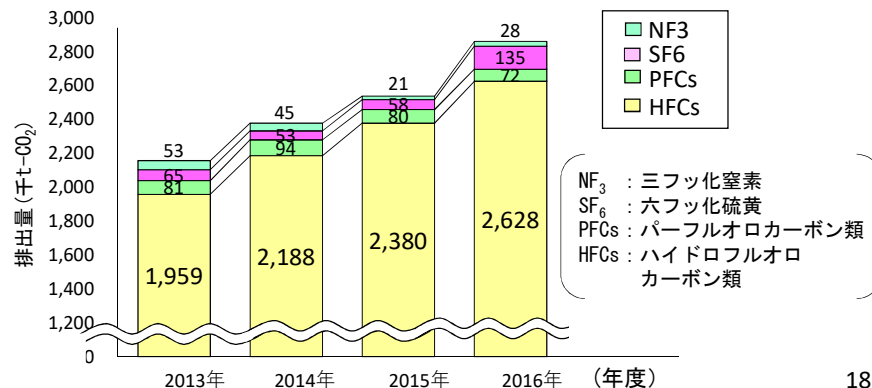
17

代替フロン等4ガス排出量について

○基準年度比では**32.6%増加**、前年度比では**12.7%増加**。

○4ガスの**約9割**を占める**HFCs**の排出が増加したため。

←代替フロンとして**HFCs**を使用した**エアコン、冷蔵庫**の回収の**増加**による。



18

(参考) 戦略の取組指標について

○ [業務部門指標] 業務部門の延床面積当たりの年間エネルギー消費量 (GJ/m²)

(年度)	2013年	2014年	2015年	2016年	...	2030年 (目標)
取組指標	0.31	0.30	0.29	0.29		0.21

○ [家庭部門指標] 世帯当たりの年間エネルギー消費量 (GJ/世帯)

(年度)	2013年	2014年	2015年	2016年	...	2030年 (目標)
取組指標	31.4	29.7	27.3	25.8		21.5

○ [運輸部門指標] 自動車一台当たりの年間化石燃料消費量 (kL)

(年度)	2013年	2014年	2015年	2016年	...	2030年 (目標)
取組指標	1.02	0.98	1.01	1.00		0.71

➡ **業務部門、家庭部門の指標は順調に減少、運輸部門はほぼ横ばい**

19